

戸畑区市民防災会だより

平成30年合同視察研修の実施

平成30年11月6日(火)、7日(水)の二日間、戸畑区自治総連合会、戸畑区衛生協会連合会及び戸畑区市民防災会連合会の三団体合同による視察研修を実施しました。

戸畑区市民防災会総連合会としては、近年の大雨による災害多発に伴い、過去大きな被害が出た長崎大水害に着目し、その被害の大きさや復興までの歩みを視察するため、長崎市消防局へ行きました。長崎市消防局では、8階の「防災体験ひろば」で、担当者から長崎大水害の概要や被害状況の説明を受けました。また、当時の貴重な映像が見られ、現在との比較ができました。

長崎市は坂の多い街であり、土砂災害警戒区域等、危険個所が数多くあります。戸畑区にも類似した地域があり、一旦大雨が降れば、土砂崩れ等、災害が発生することが予想されます。

大雨は予報があり、被害も予想されま



長崎市消防局前で

すが、近年は予想を遥かに超えた雨量となることが多く、今まで以上に常識にとらわれず、住まわれている地域の特性を把握し、早めの行動と備えが必要です。

謹賀新年



平成三十一年 元旦

戸畑消防署長 谷延正夫

昨年戸畑区では、三名の方の命が火災から救われました。これは、近隣の方が火災に気づき、声をかけ避難を促したものです。皆様におかれましては、日頃からお付き合いをとおして火災予防のお声掛けをお願いします。今年一年が災害のない年でありますように、又、皆さま方のご多幸とご健康を祈念いたします。



牧山東地区防災講座

平成30年8月18日(土)に牧山東市民センターで防災講座を実施しました。

この防災講座は、熊本地震、九州北部豪雨、西日本豪雨災害など毎年、大規模災害が発生している中、避難のタイミングと方法について学ぶとともに、早期に適切な避難所運営と健康な生活を行えば、体調不良や関連死を防ぐことにも繋がるのではないかと考え、開催されました。

また、健康維持とストレスの軽減の方法の一つとして、「食」にポイントを置き、戸畑区役所の管理栄養士のアドバイスをもらいながら参加住民全員がグループ討議を行い、避難所での献立を考えました。

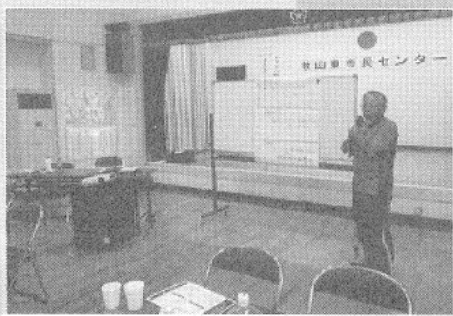
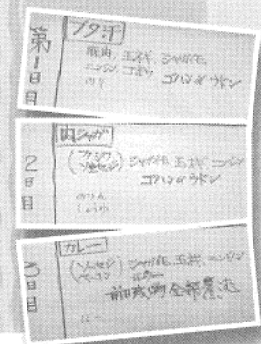
献立の内容は、健康維持のため、避難所での備蓄品は使用せず、避難所に持ち込み可能な食品を考え、その食品で栄養価の高いバランスの取れた献立を考えました。

避難所での食事を避難者が持ち寄った食品で、自ら料理することは、避難者間のコミュニケーションにも繋がり、その後の避難所生活もスムーズにいくのではないかと考えています。

防災講座の最後には、参加者が持ち込み可能な食材で考えた献立を班ごとに発表してもらいました。

各班、様々な献立が完成し、参加者からは、「避難所での健康という考えがとても面白かった」「災害時には実践してみたい」という意見が聞かれました。

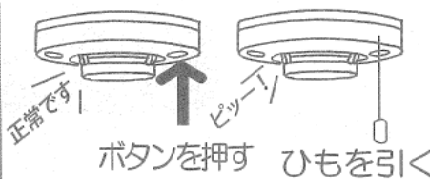
講座を希望される地域は戸畑消防署までお問い合わせください。



献立発表

あなたの家の住宅用火災警報器は大丈夫ですか？

住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上経過
住宅用火災警報器の電池の寿命は10年です。



- 電池寿命が近づくと、音やランプ表示で知らせてくれます。
- 必ず設置が必要な場所は寝室と階段です。
- 取り付け時は壁やエアコンから離しましょう。

住宅用火災警報器に関するご相談は戸畑消防署へ!

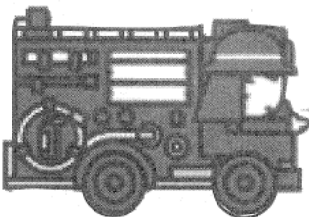


月に一回程度、作動確認をしましょう。 電池が切れたら警報器本体を交換しましょう。 正しい場所・位置に取り付けましょう。

戸畑消防署概況 (平成30年1月1日～11月30日)

●災害・救急出動件数

火災出動： 99件
救急出動： 2467件
あかきゅう出動： 268件
※消防隊・救急隊連携救急活動
救助出動： 53件



●火災件数と前年比

	建物	車両	その他	合計
H30年	11	0	8	19
H29年	7	1	4	12
増減	4	▲1	4	7